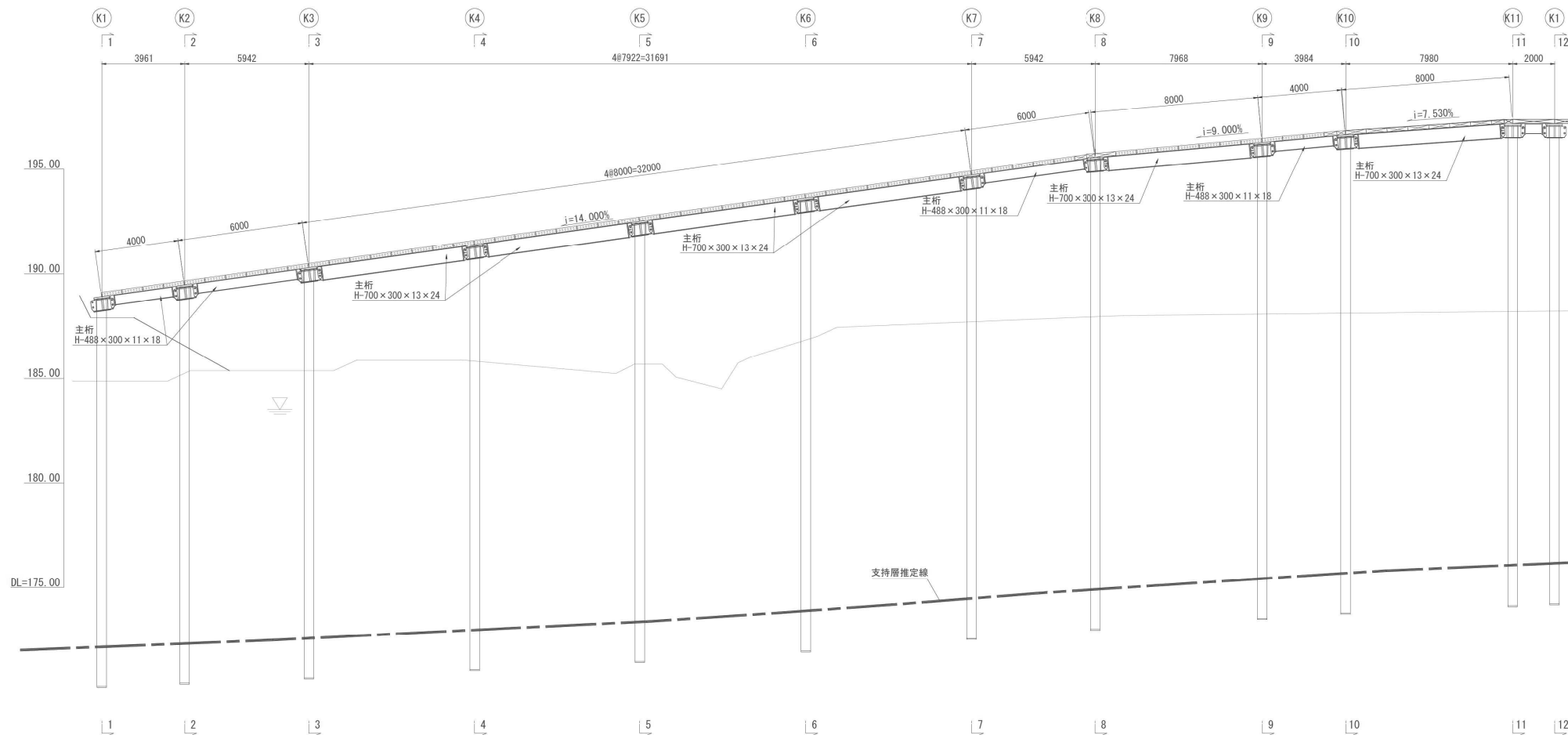


仮橋 (LIBRA工法) 側面図 (1) (77°ローチ部)

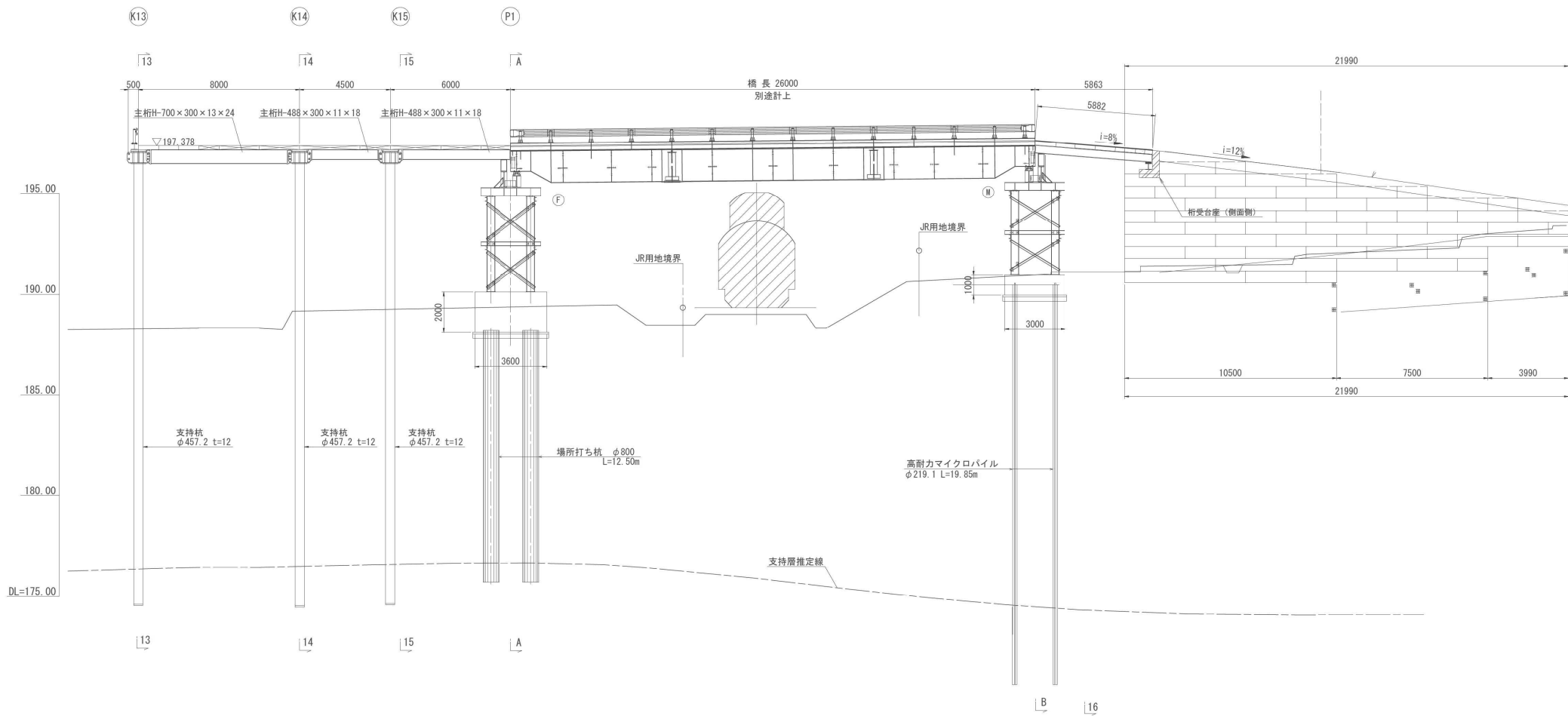
縮尺=1:100



泥之沢川工事用道路

工 事 名	R7 中部横断道工事用道路撤去その1 工事		
図 面 名	仮橋 (LIBRA工法) 側面図 (1)		
	(77°ローチ部)		
縮 尺	1:100	図面番号	83 の 42
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

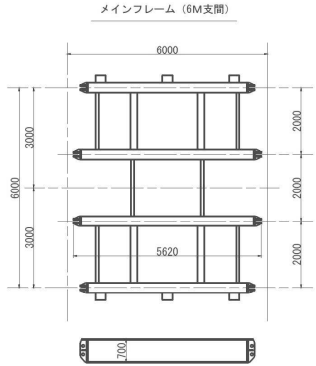
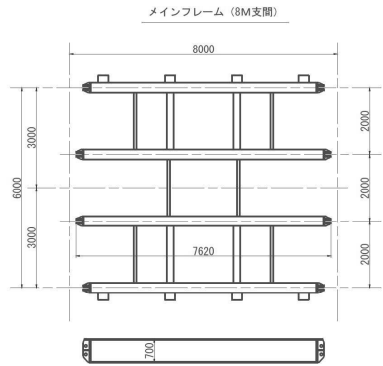
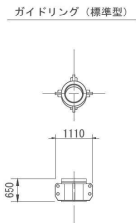
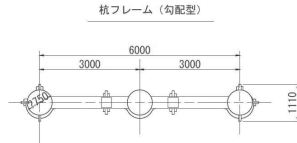
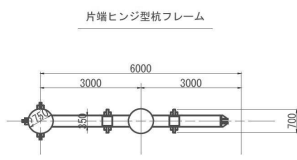
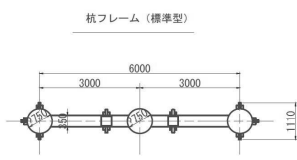
仮橋 (LIBRA工法) 側面図 (2) (77°ローチ部)
縮尺=1:100



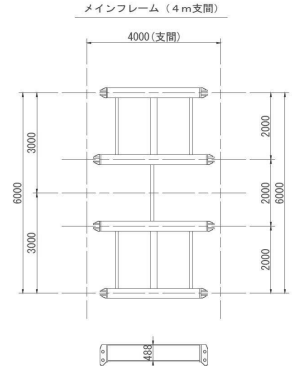
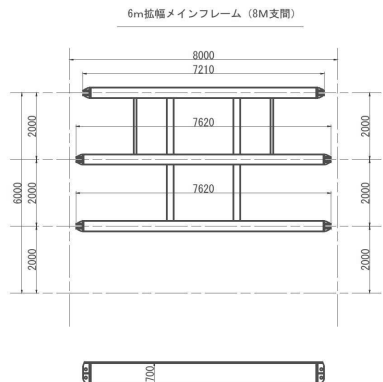
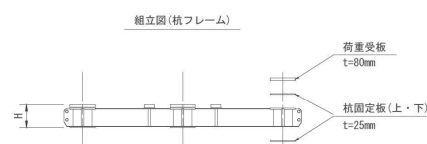
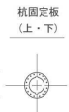
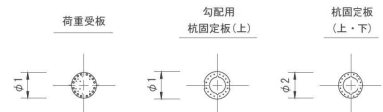
※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路			
工 事 名	R7 中部横断工事用道路撤去その1 工事		
図 面 名	仮橋 (LIBRA工法) 側面図 (2) (77°ローチ部)		
縮 尺	1:100	図面番号	83 の 43
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

主要部材一覧 [LIBRA工法] (1)



諸元 (杭フレーム)		457系				
型 式	杭フレーム (標準型)	杭フレーム (勾配型)	片端ヒンジ型 (標準型)	ガイドリング (標準型)	ガイドリング (勾配型)	
材 質	SS400					
支持杭	φ457.2 t12					
勾 配	対応範囲 0~6%	対応範囲 6~15%	対応範囲 0~6%	対応範囲 0~6%	対応範囲 6~15%	
重 量	3817kg (付属部材含む)	3917kg (付属部材含む)	2991kg (付属部材含む)	971kg (付属部材含む)	1013kg (付属部材含む)	



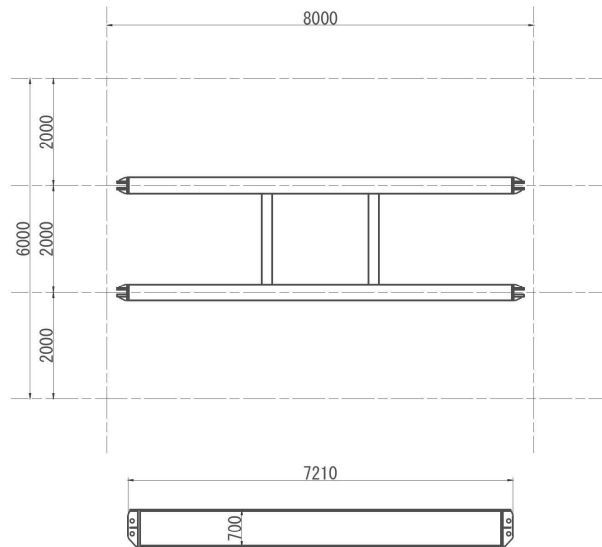
諸元 (メインフレーム)		457橋			
支間長	8.0m	6.0m	5.0m	4.0m	
幅 員	6.0m	6.0m (拡張)	6.0m	6.0m	
主 桁	H700×300×13/24	H700×300×13/24	H488×300×11/18	H488×300×11/18	
材 質	SS400		SS400		
重 量	7800kg	6185kg	4802kg	3406kg	

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路			
工 事 名	R7中部横断道工事用道路撤去その1工事		
図 面 名	主要部材一覧 [LIBRA工法] (1)		
縮 尺	1:80	図面番号	83 の 44
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

主要部材一覧〔LIBRA工法〕（2）

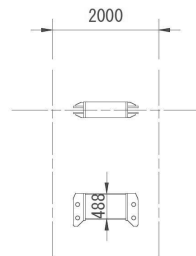
6m拡幅メインフレーム（8M支間）中央



諸元（メインフレーム）

支間長	8.0m
幅員	6.0m
主桁	H700×300×13×24
材質	SS400
重量	3965kg

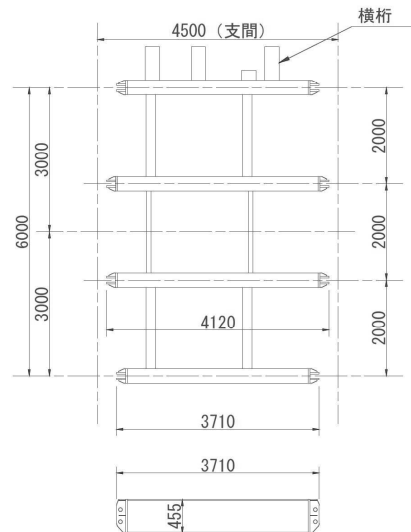
2 m 支間桁



諸元（2m拡幅桁）

型式	2m支間桁
支間長	2.0m
主桁	H488×300×11×18
材質	SS400
重量	365kg

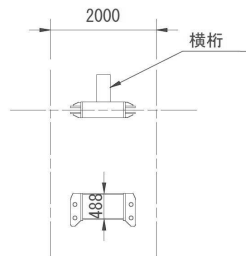
メインフレーム（4.5m支間）



諸元（メインフレーム）

支間長	4.5m
幅員	6.0m
主桁	H488×300×11×18
材質	SS400
重量	4000kg (118kg)

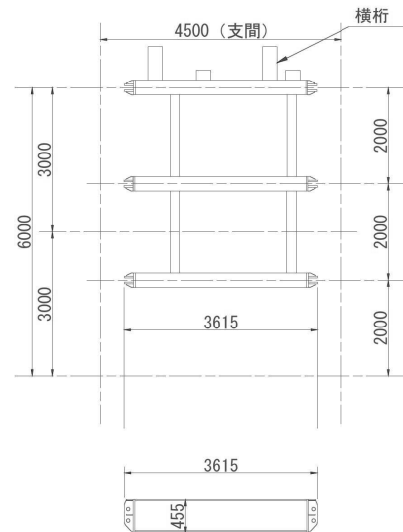
2 m 支間桁



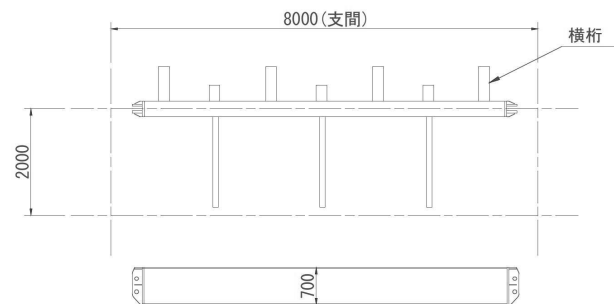
諸元（2m拡幅桁）

型式	2m支間桁
支間長	2.0m
主桁	H488×300×11×18
材質	SS400
重量	365kg+118kg

メインフレーム（4.5m支間）



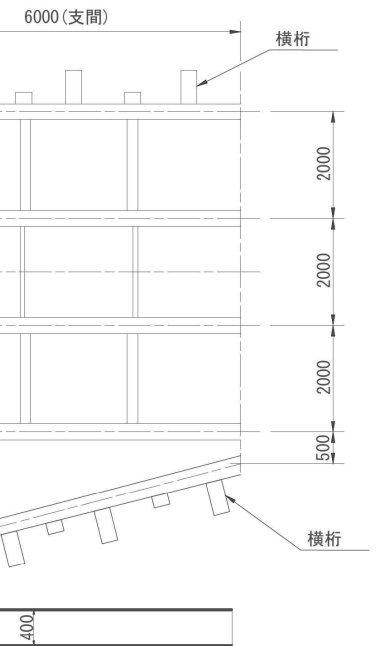
2m拡幅メインフレーム（8M支間）



諸元（メインフレーム）

457橋		
支間長	4.5m	8.0m
幅員	6.0m拡幅用	2.0m拡幅用
主桁	H488×300×11/18	H700×300×13/24
材質	SS400	
重量	3200kg+ (118kg)	3200kg+ (118kg)

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。



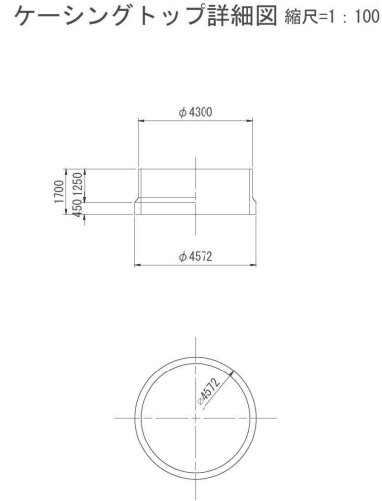
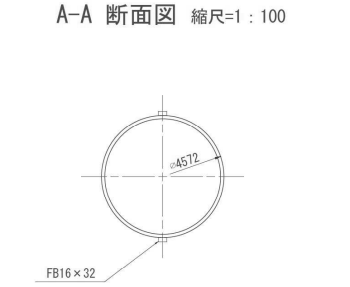
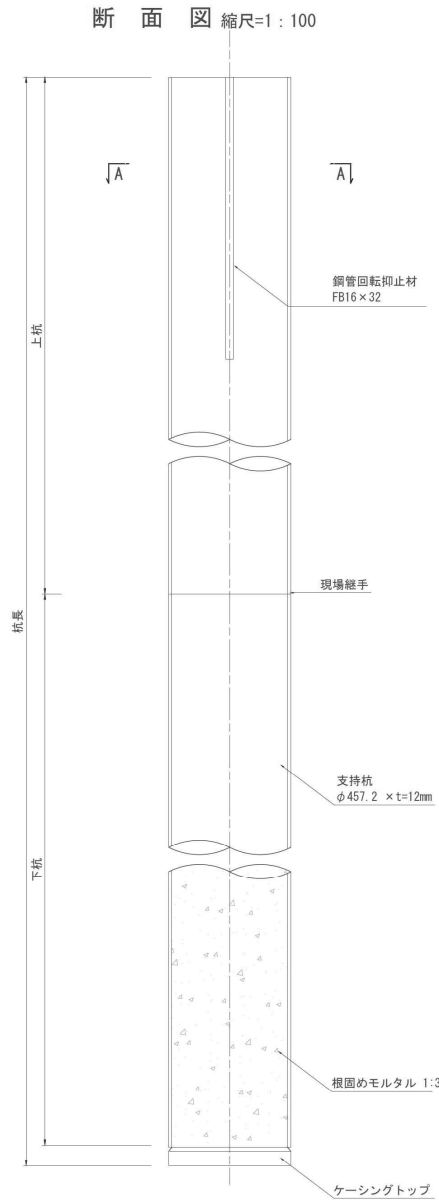
諸元（異形フレーム・A）

支間長	6.0m
幅員	8.0～6.5m
主桁	H488×300×11×18
材質	SS400
重量	5500kg (118kg)

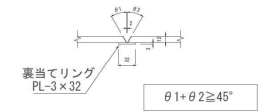
泥之沢川工事用道路

工事名	R7 中部横断工事用道路撤去その1 工事		
図面名	主要部材一覧〔LIBRA工法〕（2）		
縮尺	1:50	図面番号	83 の 45
年月日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 建設技術センター		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

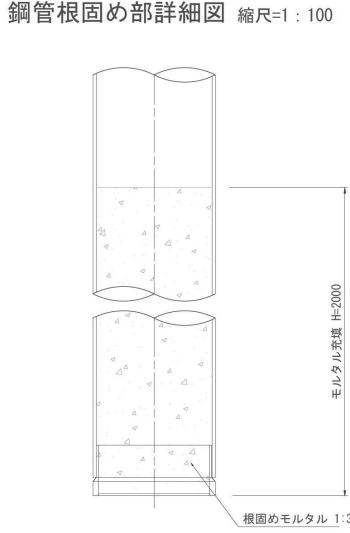
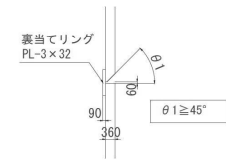
仮橋 (LIBRA工法) 支持杭構造図 (77° ロ-チ部)



現場溶接継手詳細図 縮尺=1:5
(下向き溶接)



現場溶接継手詳細図 縮尺=1:10
(横向き溶接)



※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路			
工 事 名	R7 中部横断工事用道路撤去その1 工事		
図 面 名	仮橋 (LIBRA工法) 支持杭構造図 (77° ロ-チ部)		
縮 尺	図 示	図面番号	83 の 46
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

仮橋（LIBRA工法）鋼材集計表

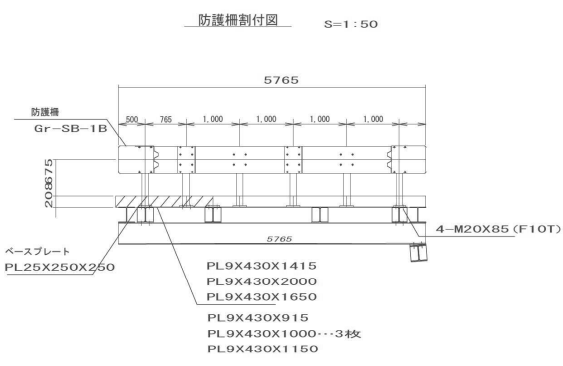
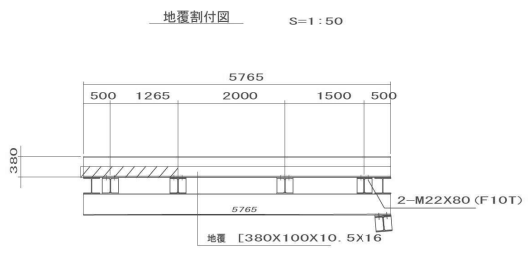
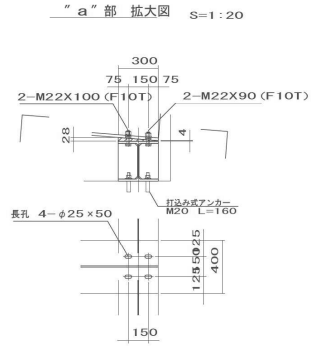
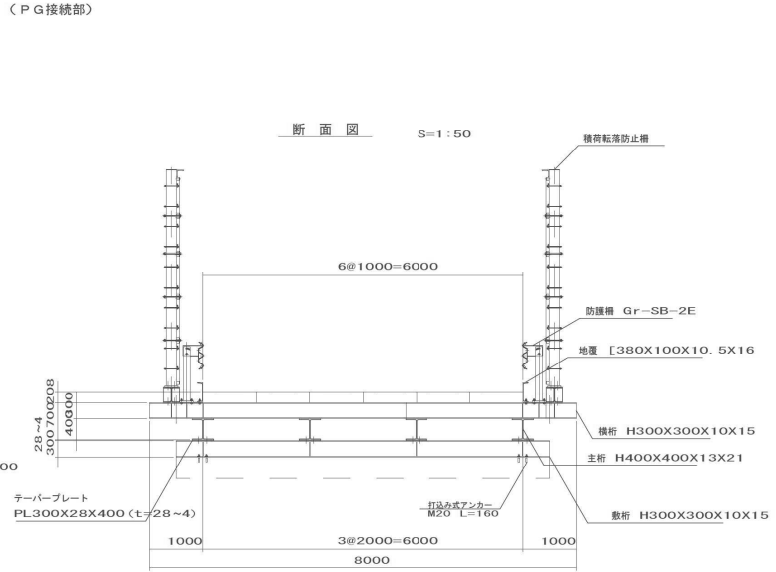
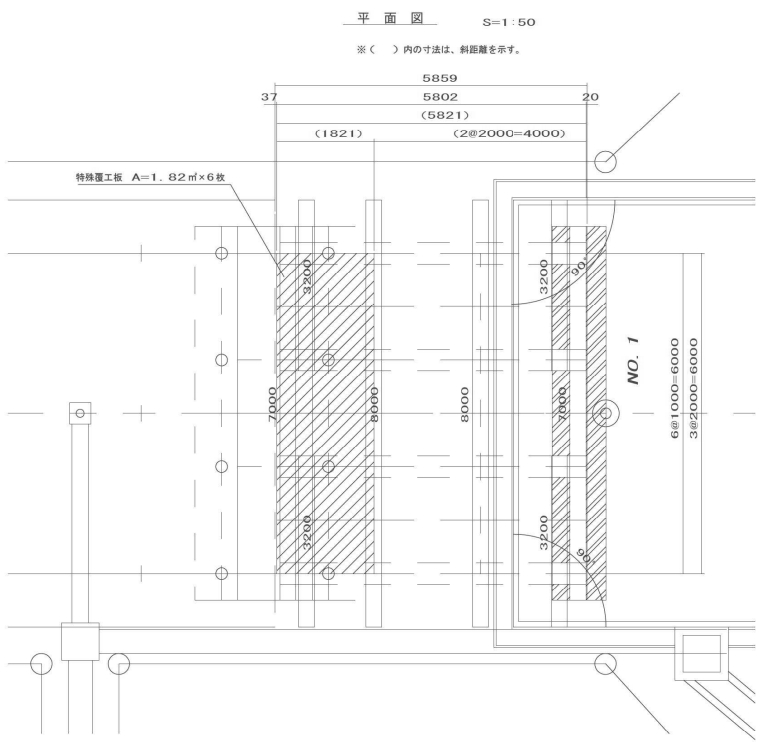
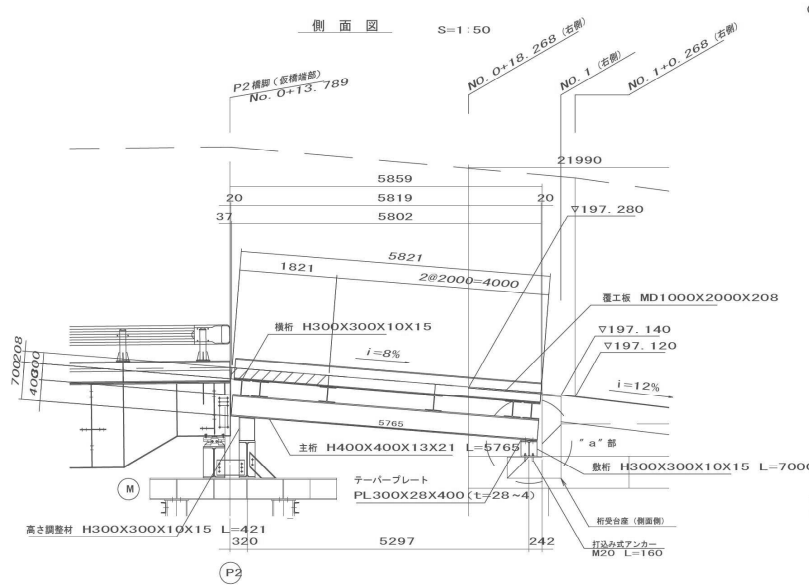
工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
上部工	(標準品)					(143,519)	
	杭フレーム (標準型)	457橋	基	4.0	3,817.0	15,268	付属部材含む
	杭フレーム (勾配型)	457橋	基	10.0	3,917.0	39,170	〃
	片端ヒンジ杭フレーム (標準型)	457橋	基	3.0	2,991.0	8,973	〃
	ガイドリング (標準型)	457橋	基	4.0	971.0	8,884	〃
	ガイドリング (勾配型)	457橋	基	1.0	1,013.0	1,013	〃
	メインフレーム (8M支間)	457橋	基	6.0	7,800.0	46,800	〃
	メインフレーム (6M支間)	457橋	基	2.0	4,802.0	9,604	〃
	メインフレーム (4M支間)	457橋	基	2.0	3,406.0	6,812	〃
	6 m拡幅メインフレーム (8M支間)	457橋	基	1.0	6,185.0	6,185	〃
	6 m拡幅メインフレーム (5M支間)	457橋	基	1.0	3,985.0	3,985	〃
	2 m支間桁	457橋	基	5.0	365.0	1,825	〃
	(標準外品)					(21,156)	〃
	異形フレーム (A : 44n2)	457橋	基	1.0	5,500.0	5,500	付属部材含む (Gr-SB種対応用)
	メインフレーム (4.5M支間)	457橋	基	1.0	4,000.0	4,000	〃
	6 m拡幅メインフレーム (4.5M支間)	457橋	基	1.0	3,200.0	3,200	〃
	2 m拡幅メインフレーム (8M支間)	457橋	基	2.0	2,200.0	4,400	〃
	2 m支間桁	457橋	基	4.0	365.0	1,460	〃
	横桁	H-300 (Gr-SB種対応加工用部品)	基	22.0	118.0	2,596	〃
	主部材合計					164,675	
	庫止め	[-380×100×10.5	m	187.0	54.5	10,192	
	覆工桁	6M	本	1.0	322.0	322	
	ガードレール用基礎		基	2.0	681.0	1,362	
	副部材合計					11,876	
	上部合計					176,550	返却

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
橋脚工	支持杭	φ457.2 t12	m	1,156.3	132.0	152,631	電鍍管仕様
	回転抑止材		m	1,677.1	4.0	6,708	Σ [(掘削長+1 m) × 2]
	裏あてリング	φ457.2用	ヶ	53.0	1.0	53	y : 溶接個所数
	主部材合計 (全数)					159,392	
	支持杭	φ457.2 t12	m	974.0	132.0	128,565	全数－ (切断損耗部+不足分弁償部)
	回転抑止材		m	1,624.1	4.0	6,496	全数－切断損耗部
	主部材合計 (返却整備部)					135,061	
	支持杭	φ457.2 t12	m	79.5	132.0	10,494	(n×0.5m) + (y×1.0m)
	回転抑止材		m	53.0	4.0	212	(n×0.5m) × 2
	裏あてリング	φ457.2用	ヶ	53.0	1.0	53	
	主部材合計 (切断損耗部)					10,759	
	ケーシングトップ	φ457.2用	ヶ	53.0	25.0	1,325	n : 杭本数
	副部材合計					1,325	
	支持杭	φ457.2 t12	m	102.8	132.0	13,572	n×1.94m (鉄鈹付先端部)
	ケーシングトップ	φ457.2用	ヶ	53.0	25.0	1,325	
	不足分弁償部材合計					14,897	
	橋脚工合計					160,717	返却 (160,717-14,897 =145,820kg)

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
橋面工	覆工板	標準品	m2	620.0	215.0	133,000	(標準)332.0m2 (すべり止め)288.0m2
	覆工板 (異形部)	標準外品	m2	13.5	215.0	2,902	
	橋面工合計			633.5		136,202	返却
高欄工	ガードレール	C種	m	144.0	22.0	3,168	
	ガードレール	S B種	m	41.5	59.5	2,469	
	高欄工合計			185.5		5,637	返却

泥之沢川工事用道路			
工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その1 工事		
図 面 名	仮橋 (LIBRA工法) 鋼材集計表		
縮 尺	—	図面番号	83 の 47
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

仮橋(従来工法)一般図(PG接続部)



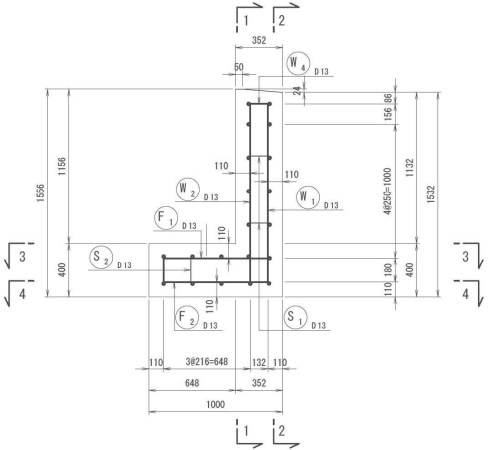
※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路			
工事名	R7中部横断工事用道路撤去その1工事		
図面名	仮橋(従来工法)一般図(PG接続部)		
縮尺	図示	図面番号	83の48
年月日	令和8年1月		
設計会社名	株式会社ハヤテ・コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

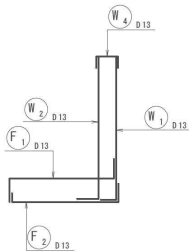
仮設橋桁(従来工法)受台座配筋図(1)(PG接続部)

S=1:20

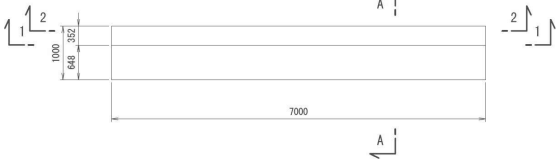
A-A断面図



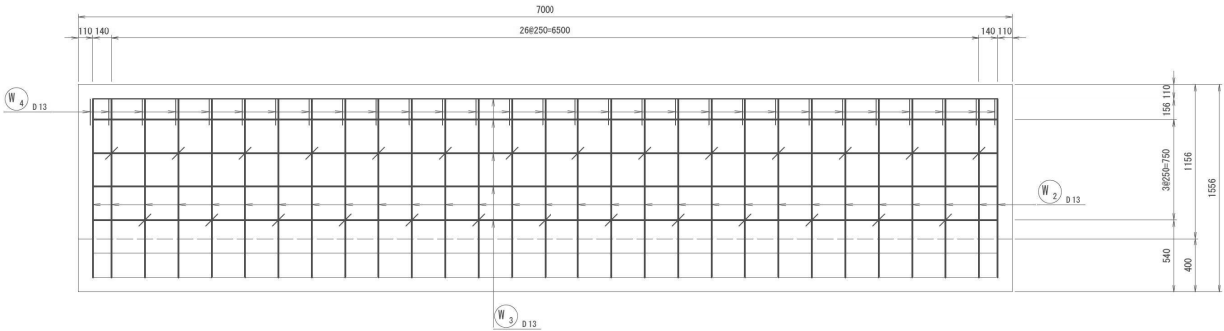
主鉄筋組立図



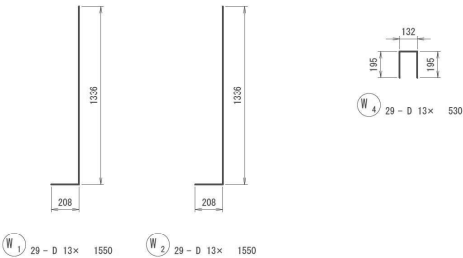
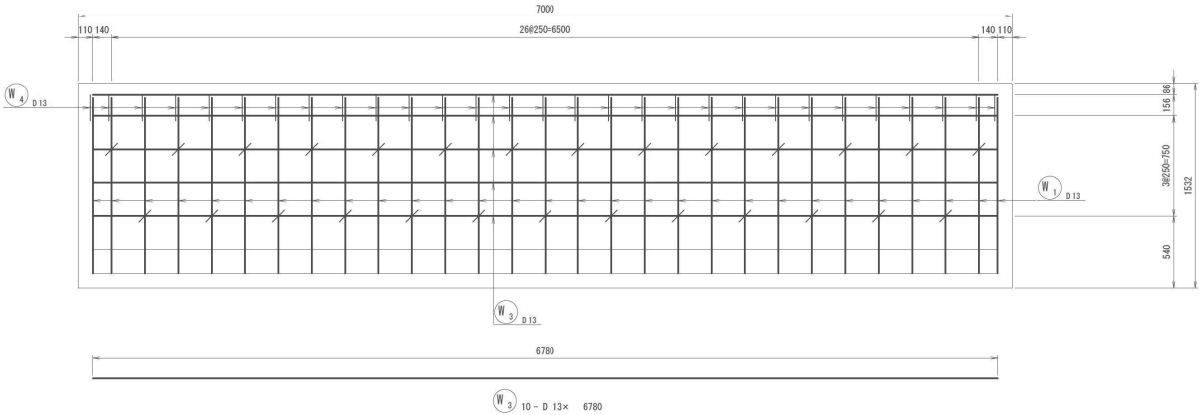
位置図



1-1展開図



2-2展開図



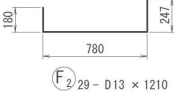
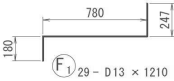
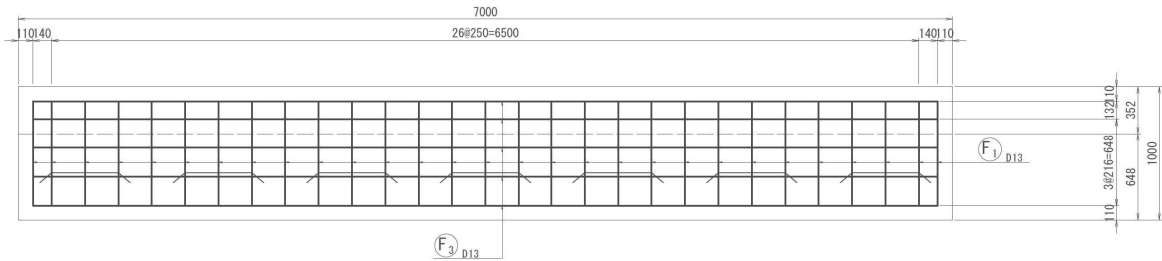
※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路			
工事名	R7 中部横断道工事用道路撤去その1 工事		
図面名	仮設橋桁(従来工法)受台座配筋図(1) (PG接続部)		
縮尺	1:20	図面番号	83 の 49
年月日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社ハヤテ・コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

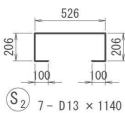
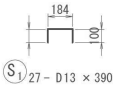
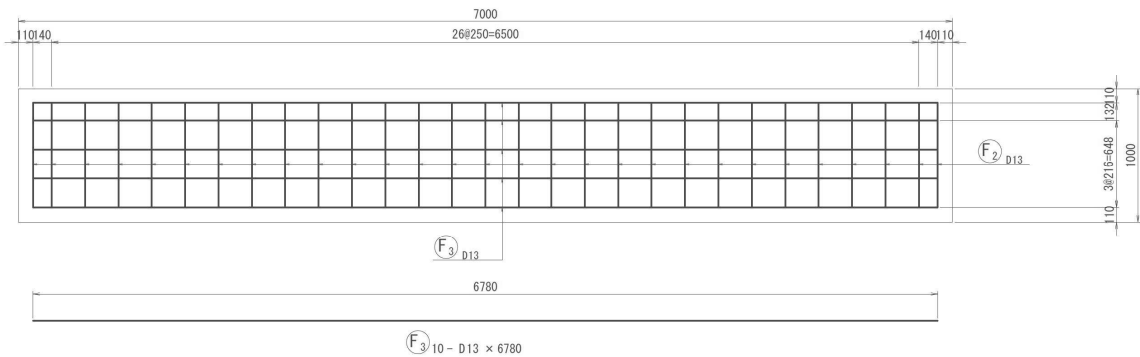
仮設橋桁(従来工法)受台座配筋図(2) (PG接続部)

S=1:20

底版上面(3-3)展開図

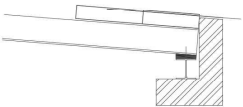


底版下面(4-4)展開図



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W 1	D13	1300	29	0.995	1.29	37	└─┘
2	D13	1300	29	0.995	1.29	37	└─┘
3	D13	6780	8	0.995	6.75	54	└─┘
4	D13	530	29	0.995	0.53	15	└─┘
F 1	D13	1210	29	0.995	1.20	35	└─┘
2	D13	1210	29	0.995	1.20	35	└─┘
3	D13	6780	10	0.995	6.75	68	└─┘
S 1	D13	390	27	0.995	0.39	11	└─┘
2	D13	1140	7	0.995	1.13	8	└─┘
D13						300 kg	
(SD345) 合計						300 kg	



主桁下面 穴明 25×50 長穴

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路			
工 事 名	R7 中部横断道工事用道路撤去その1 工事		
図 面 名	仮設橋桁(従来工法)受台座配筋図(2) (PG接続部)		
縮 尺	1:20	図面番号	83 の 50
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社ハヤテ・コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

仮橋(従来工法)鋼材集計表(PG接続部)

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
上部工	主桁	H400×400×13×21	本	4.0	172.0	3,966.3	L=5.765m
	横桁	H300×300×10×15	本	4.0	93.0	2,976.0	L=8.000m
	横桁	H300×300×10×15	本	2.0	93.0	1,302.0	L=7.000m
	地覆工	380×100×105×16	本	2.0	54.5	628.4	L=5.765m
	プレート	PL25×250×250	枚	12.0	196.25	147.2	A=0.0625m2
	プレート	PL9×430×1415	枚	1.0	70.65	43.0	A=0.60845m2
	プレート	PL9×430×2000	枚	1.0	70.65	60.8	A=0.86m2
	プレート	PL9×430×1650	枚	1.0	70.65	50.1	A=0.7095m2
	プレート	PL9×430×915	枚	1.0	70.65	27.8	A=0.39345m2
	プレート	PL9×430×1000	枚	3.0	70.65	91.1	A=0.430m2
	プレート	PL9×430×1150	枚	1.0	70.65	34.9	A=0.4945m2
上部合計						9,327.6	購入品(現場発生品)

工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
橋面工	覆工板	標準 2000×1000	枚	12.0	428.0	5,136	A=24.0m2
	覆工板	特殊 1820×1000	枚	5.0	389.0	2,334	A=10.92m2
	橋面工合計		m2	34.92		7,470	購入
高欄工	ガードレール	S 8 種	m	11.7	59.50	696.2	
	高欄工合計			11.7		696.2	購入品(現場発生品)

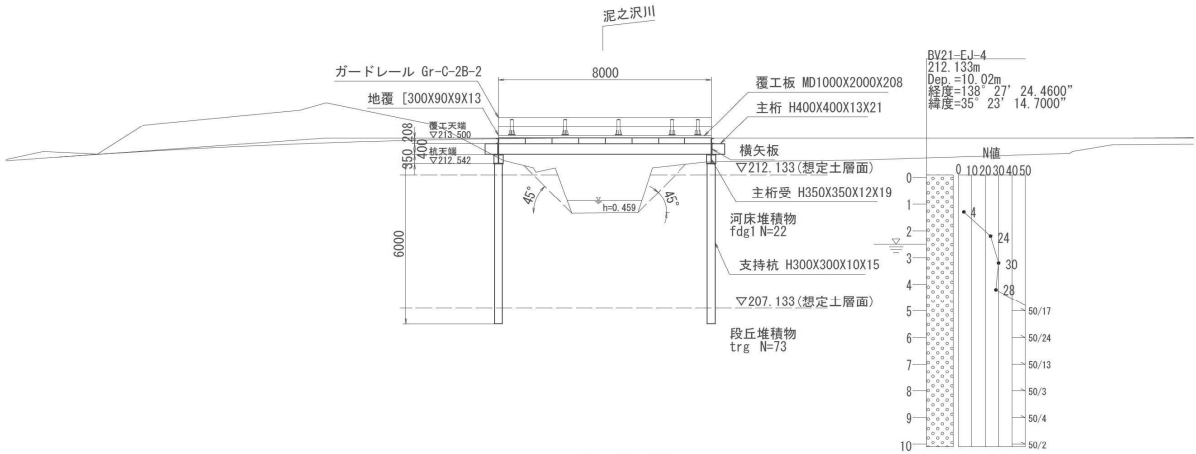
工 種	部 品 名	規 格・寸 法	単位	数 量	単 重 (kg)	合 計 (kg)	摘 要
橋脚工	敷付	H300×300×10×15	本	1.0	93.0	651.0	L=7.0m
	調整材	H300×300×10×15	本	4.0	93.0	156.6	L=0.421m
	テーパープレート	PL300×28×400	枚	4.0	15.072	60.3	
	橋脚工					867.9	購入品(現場発生品)

泥之沢川工事用道路			
工 事 名	R 7 中部横断道工事用道路撤去その 1 工事		
図 面 名	仮橋(従来工法)鋼材集計表(PG接続部)		
縮 尺	—	図面番号	83 の 51
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省	甲府河川国道事務所	

仮橋(従来工法)構造図(上流部)

S=1:100

側面図 S=1:100

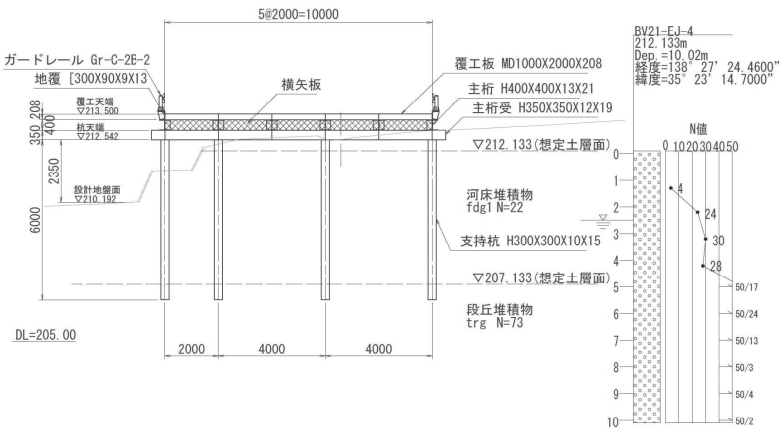


平面図 S=1:100

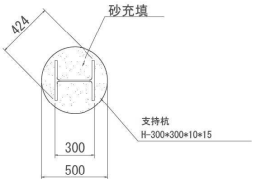


断面図 S=1:100

EC-6



支持杭削孔図



設計条件

形式	H鋼橋 仮橋
幅員	10.0m
支間長	8.0m
荷重	A活荷重
衝撃荷重	i=0.4
覆工板	覆工板以外
水平荷重	全活荷重の10%を考慮
横断勾配	0.00%
縦断勾配	0.00%
たわみ	L/400 かつ 25mm以下
床版	覆工板 2000x1000, 3000x1000
材料強度	鋼材・ボルト SS400
基礎形式	杭橋脚
許容応力度割増	50%
適用方書	道路橋示方書 同解説 H24.3 (日本道路協会) 道路土工 仮設構造物工指針 H11.3 (日本道路協会)

泥之沢川仮設橋 材料表		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
上部工	主桁、受桁、地覆	t	14.5
覆工板		m ²	80.0
仮設高欄	ガードレール(Gr-C-2B改造)	m	17.0
橋脚	支持杭(L=6.0m)	t	4.6

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

泥之沢川工事用道路	
工 事 名	R7中部横断工事用道路撤去その1工事
図 面 名	仮橋(従来工法)構造図(上流部)
縮 尺	1:100 図面番号 83 の 52
年 月 日	令和 8 年 1 月
設計会社名	株式会社ハヤテ・コンサルタント
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

全体平面図 S=1:1500

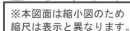


大久保沢川工事用道路

工事名	R7中野河断道工事用道路撤去その1工事		
図面名	全体平面図		
縮尺	1:1500	図面番号	83 の 53
年月日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

S=1 : 500



工 事 名	R7中部横断溝工事用道路撤去その1工事
-------	---------------------

平面图

図面番号	83 の 54
------	---------

8 年 1 月

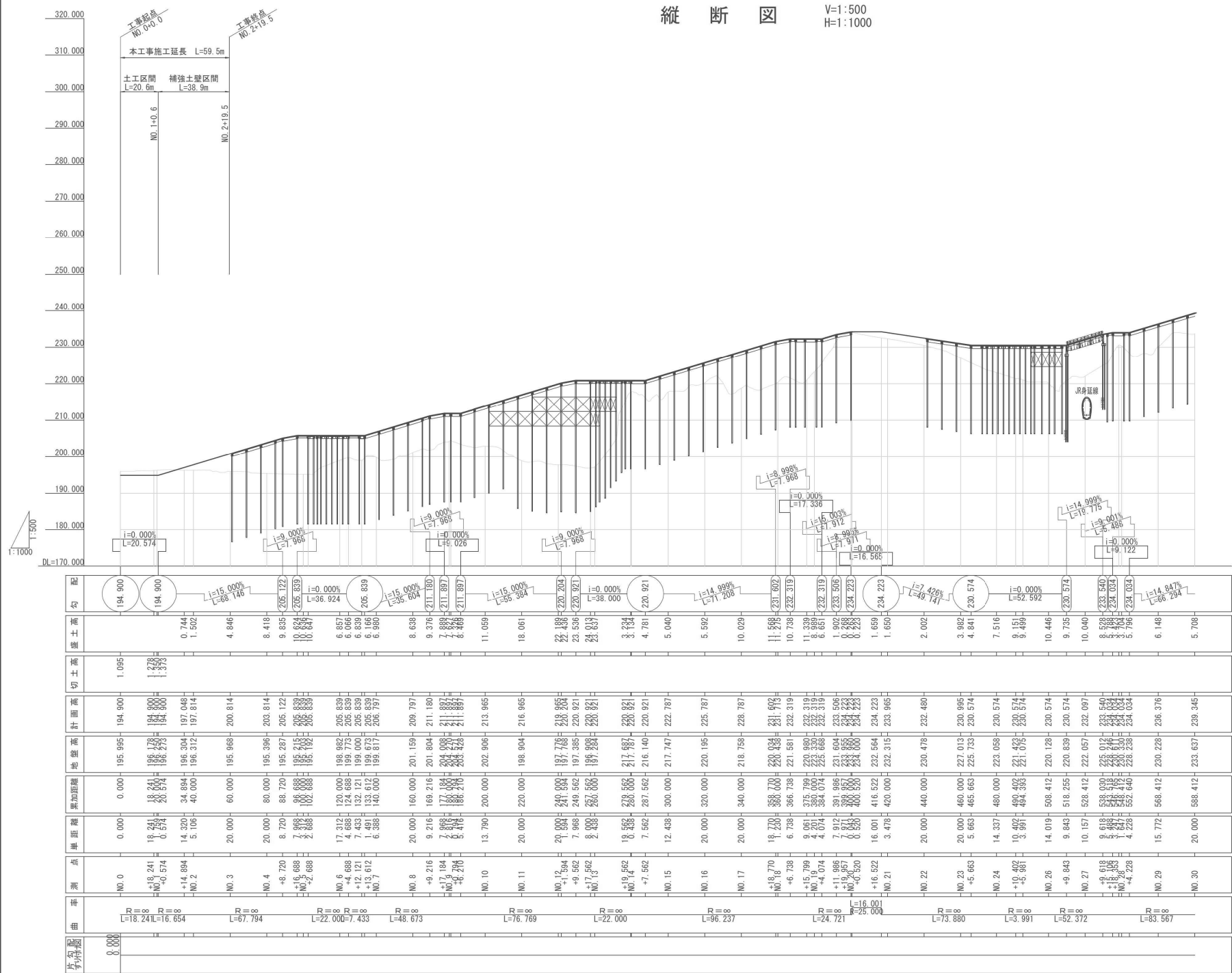
総合技術コンサルタント

1. $\text{CH}_3\text{COOH} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{CH}_3\text{COO}^- + \text{H}_3\text{O}^+$

省 甲府河川国道事務所

縦断図

V=1:500
H=1:1000



※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

大久保沢川工事用道路			
工 事 名	R7中野環状線工事用道路撤去その1工事		
図 面 名	縦断図		
縮 尺	V=1:500 H=1:1000	図面番号	83 の 55
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

S=1 : 100

道路規格	第3種第5級相当
交通区分	N4 (20台以上100未満台/日・方向)
設計速度	20 km/h
幅員	車線 5.00 m
	路肩 0.50 m
設計CBR	12.0 %
設計(目標)T A厚	16.5 (13.3)

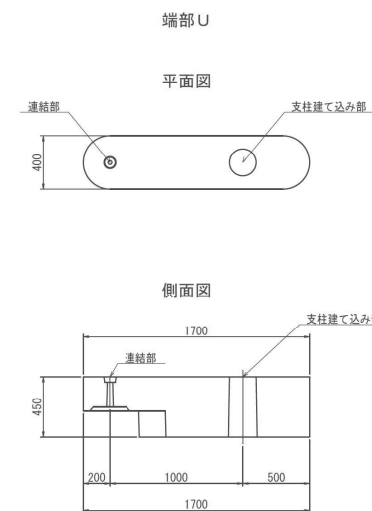
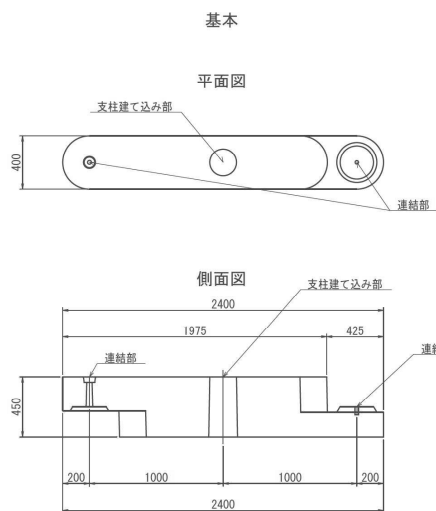
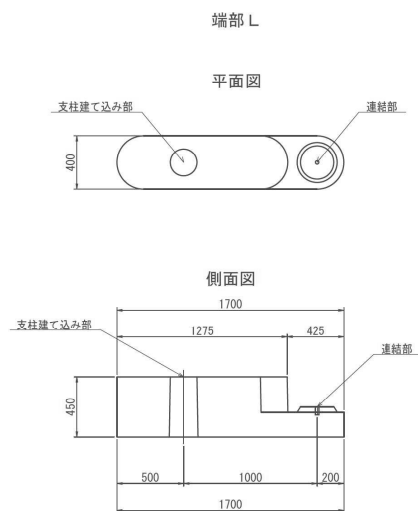
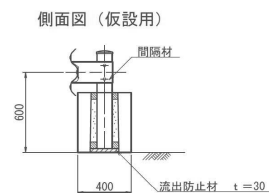
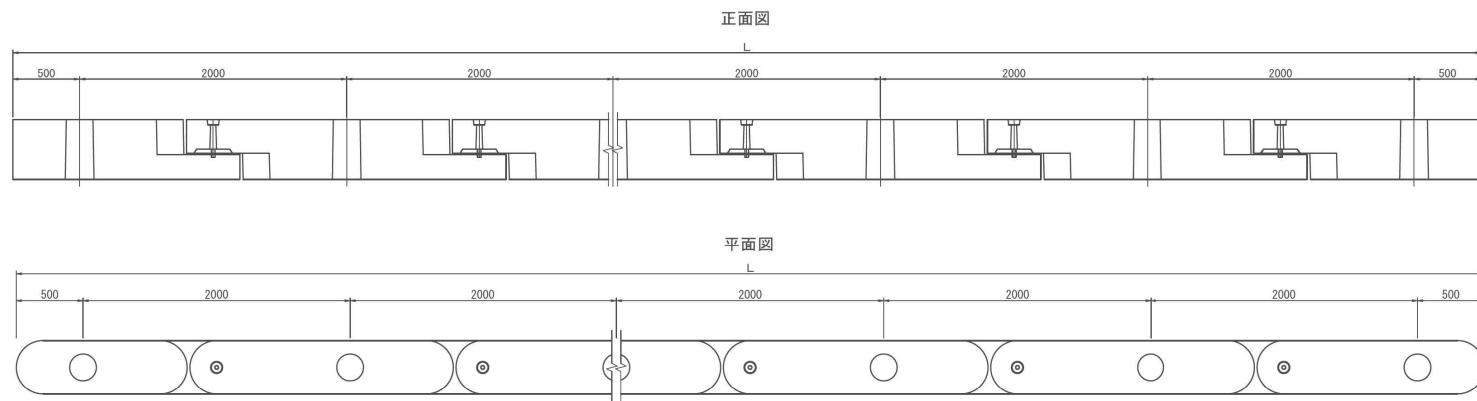
Technical drawing of a road cross-section showing drainage and paving details. The drawing includes dimensions for various layers and components. Key features include:

- Top layer with a width of 7600mm and a central section of 6000mm.
- Drainage layer with a thickness of 100mm and a width of 5000mm.
- Base layer with a thickness of 100mm and a width of 5000mm.
- Surface layer with a thickness of 100mm and a width of 5000mm.
- Drainage ditch on the right side with a width of 500mm and a depth of 100mm.
- Labels: DL=195.00, 5+990-4500, 図面番号: 100.

大久保沢川工事用道路			
工 事 名	R7中環線新道工事用道路撤去の1工事		
図 面 名	標準横断面		
縮 尺	1:100	図面番号	83 の 56
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

防護柵詳細図

置式ガードレール（連続基礎型PCタイプ） S=1:20

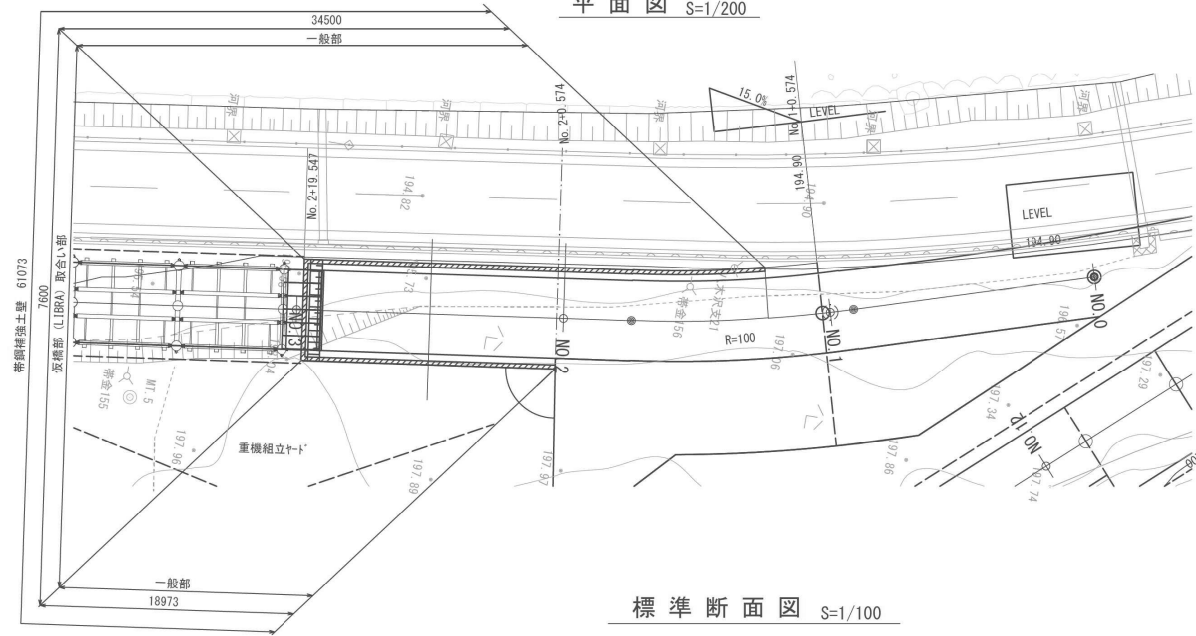


※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

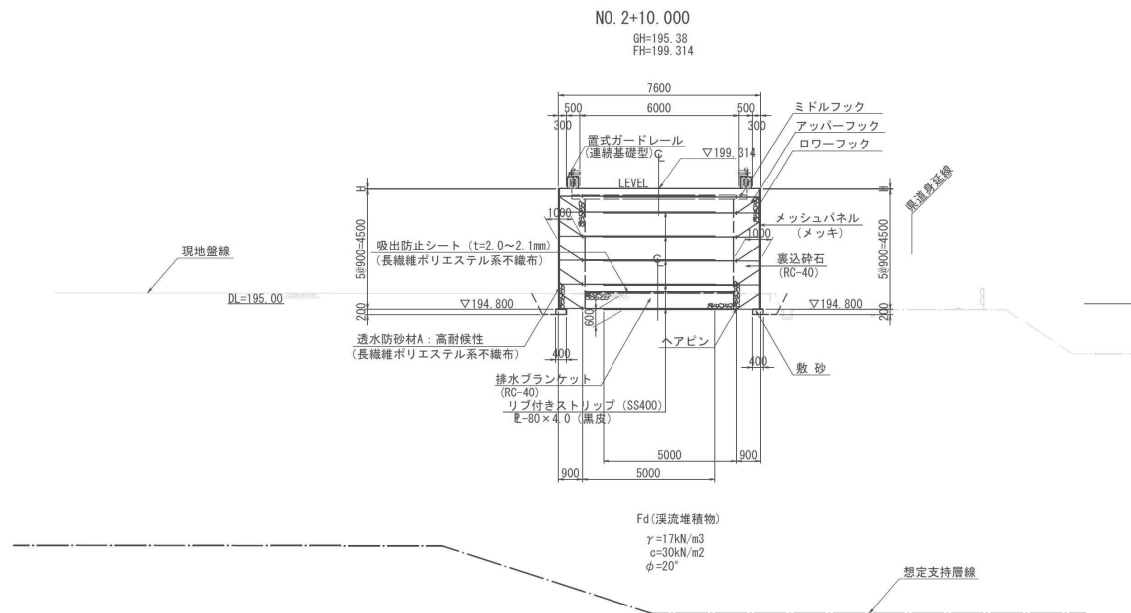
大久保沢川工事用道路			
工 事 名	R7中野環状工事用道路撤去その1工事		
図 面 名	防護柵詳細図		
縮 尺	1:20	図面番号	83 の 57
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

補強土壁一般図

平面图 S=1/200

標準断面図 $S=1/100$

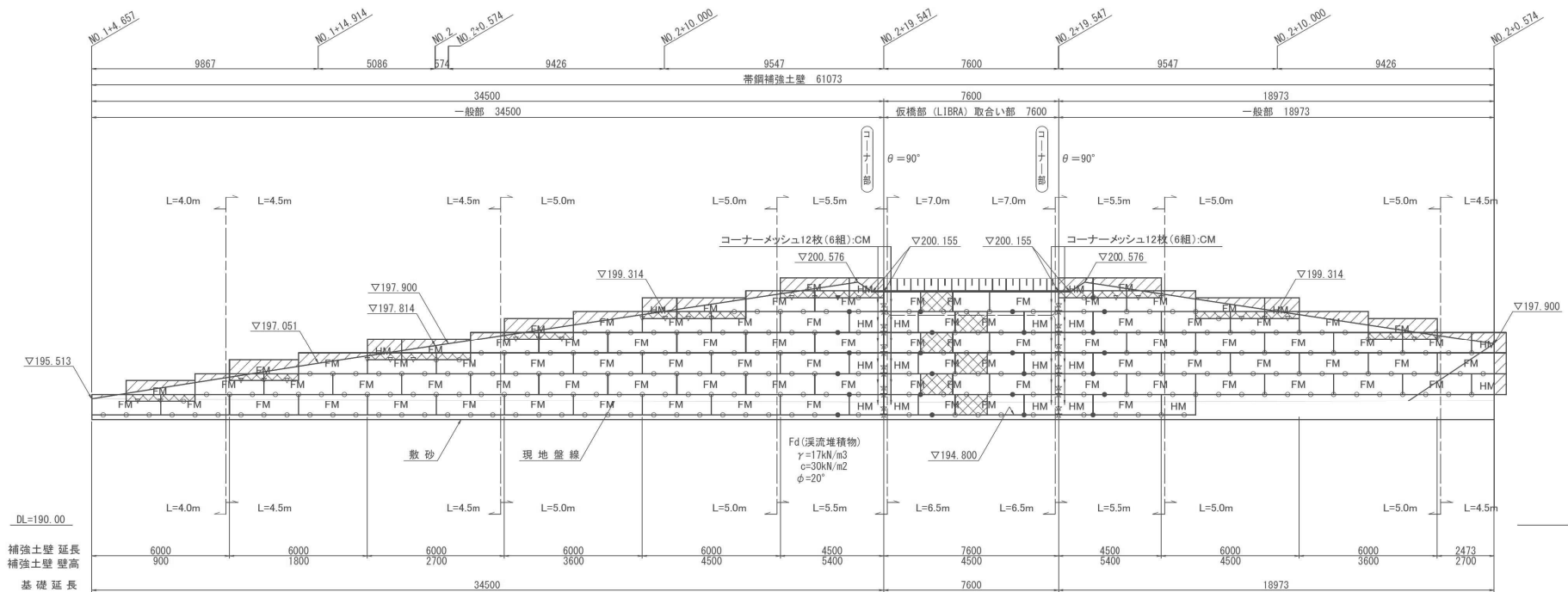
一般部



※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

大久保沢川工事用道路			
工 事 名	R7中野郡新築工事用道路撤去その1工事		
図 面 名	補強土壁一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	83 の 58
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

補強土壁展開図 S=1 : 100



設計条件	
補強土壁の高さ	Hmax=5.400m
盛土材の性質	$\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$
設計水平震度	—
安全率	常時
	ストリップの引抜けに対して 2.00
	転倒に対して $e \leq L/6$
	滑動に対して 1.50
	支持力に対して 2.00
	円弧すべりに対して 1.20
ストリップの許容引張応力度 $\sigma_{ta}=140\text{N/mm}^2$	
ボルトの許容せん断応力度 $\tau_a=200\text{N/mm}^2$	
必要極限支持力	$189.07\text{kN/m}^2 \times 2.0$ (安全率) $\approx 380\text{kN/m}^2$ 以上

記号	使用部材	取付位置
○	・アッパーフック	・ストリップ取付間隔1.00m
●	・ロウーフック	・上下メッシュパネルの接合部
	・ヘアピン	・最下段
▽	・ミドルフック	・ストリップ取付間隔1.00mの上段
▼	・ヘアピン	・アッパーフック取付位置
☆	・ミドルフック	・コーナー部
	・ヘアピン	・最下段と1層 (0.30m) 上の2ヶ所

注) ・Lは、ストリップの敷設長さを表す。
・ は、メッシュパネルの現場加工範囲を表す。
・ は、メッシュパネルの重ね合わせ範囲を表す。
・ は、ガセットプレート (250×5.0×285) を使用し、所定長ストリップを直角方向に1本、 $\theta=45^\circ$ 方向に1本(計2本)取付ける箇所を表す。

大久保沢川工事用道路	
工事名	R7中部環状工事用道路撤去その1工事
図面名	補強土壁展開図
縮尺	1:100 図面番号 83 の 59
年月日	令和 8 年 1 月
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

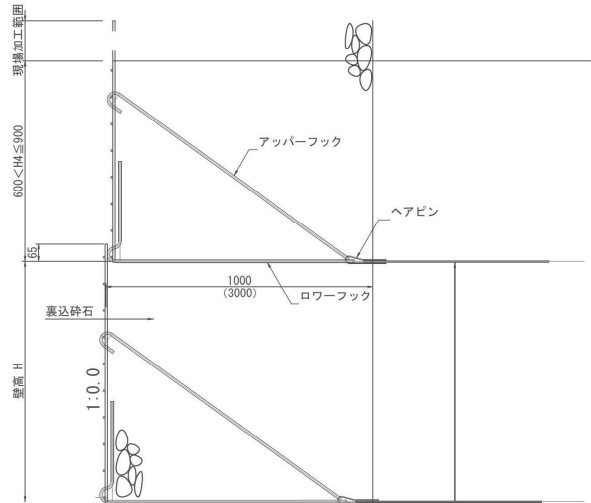
※本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります。

補強土壁詳細図（２）

天端組立詳細図 S=1/10

最上段ストリップ取付がアッパーフック・ローフックによる場合

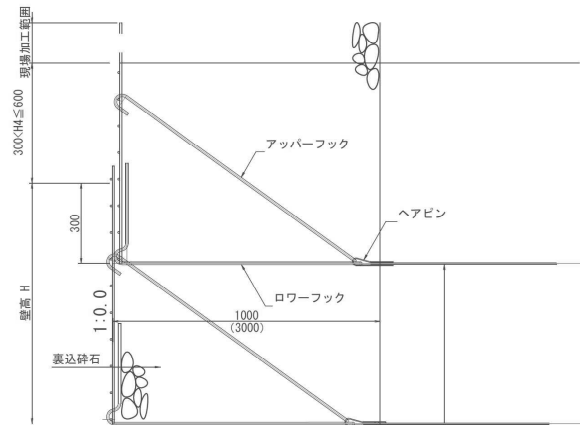
天端調整高 $600 < H_4 \leq 900$



※ 仮橋橋取合い部の裏込砕石幅は3000とする。

ストリップ R-80×4.0

天端調整高 $300 < H_4 \leq 600$

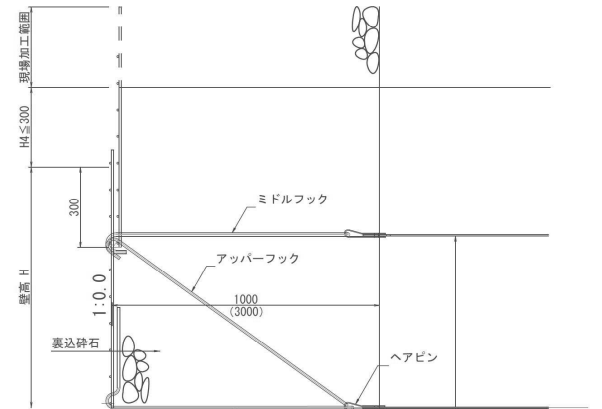


※ 仮橋橋取合い部の裏込砕石幅は3000とする。

ストリップ R-80×4.0

最上段ストリップ取付がミドルフックによる場合

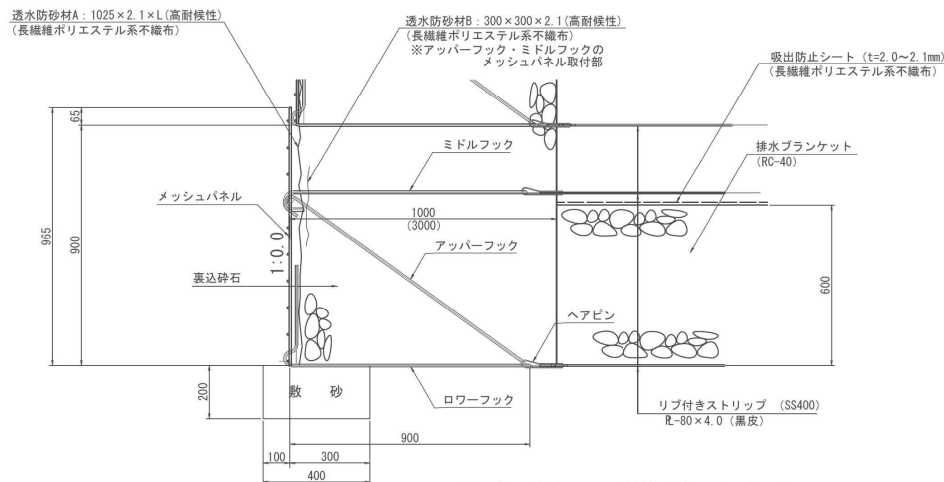
天端調整高 $H_4 \leq 300$



※ 仮橋橋取合い部の裏込砕石幅は3000とする。

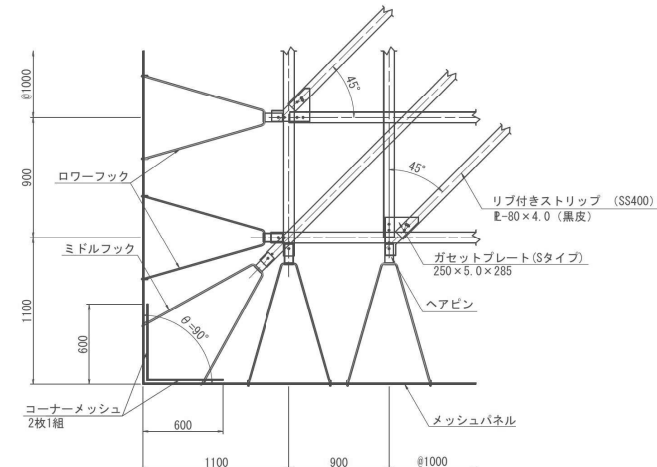
ストリップ R-80×4.0

組立一般図 S=1/10



※ ・ストリップは、吸出防止シートに直接敷設しないようにする。
・仮橋橋取合い部の裏込砕石幅は3000とする。

コーナー部詳細図 S=1/20



※ コーナーメッシュは、背面側から取付ける。

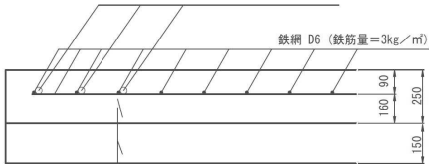
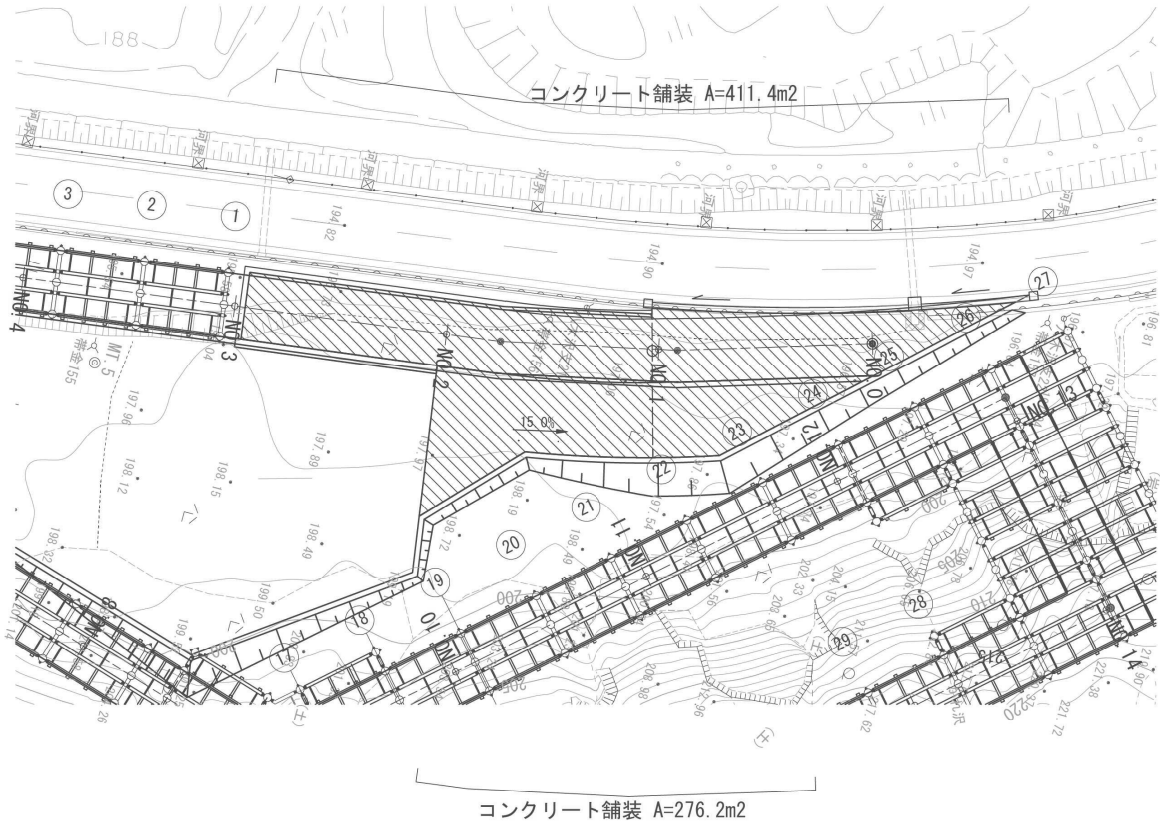
大久保沢川工事用道路			
工事名	R7中野橋新設工事用道路撤去その1工事		
図面名	補強土壁詳細図（２）		
縮尺	図示	図面番号	83の61
年月日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。

舗装版取壊し詳細図

平面図 S=1:250

舗装構成図 S=1:10



表層 (コンクリート舗装)
設計基準曲げ強度4.4MPa t= 25cm
路盤 (粒度調整砕石M-30) t= 15cm

凡例

〰〰〰 C0舗装工

大久保沢川工事用道路

工事名	R7中野橋断道工事用道路撤去その1工事		
図面名	舗装版取壊し詳細図		
縮尺	図示	図面番号	83の62
年月日	令和8年1月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります。